

# 山 ゆ り

5 - 6 月号 No395 2021 年 5 月 1 日

初号発行:1972 年 12 月 25 日

## 山ゆりの会

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒242-0026 大和市草柳 1-3-201 草野正昭

Tel/Fax:046-260-6515 メール:VZM03024@nifty.com

URL : <http://yamayuri.d.doou.jp/>



## 4 月山行報告

4 月 18 日(日) 関東ふれあいの道

津久井雨乞山-津久井湖

参加者: 稲本 遠藤 小野寺 加藤 曾根 名須  
川 浜田 河野 黒羽 西村 浜田 草野(12名)

■テレビの天気予報は金曜日の時点でも土日は低気圧の通過で雨とか大荒れの予報、3月に続いて中止はしたくない。ネットの地域別の予報サイトを見ると木曜日の時点で神奈川県西部は雨のち晴れ、金曜日には晴れとある。

日曜日は絶対雨は降らない、山ゆりはできると確信。結果は朝から青空、快適なハイキング日和でした。

このコースは 2005 年に歩いているが、今回は地元の方々が反対している津久井農場計画の場所を見たくて逆コースから。

この津久井農場計画は茅ヶ崎の酪農業社と称する佐藤ファームが山の中の沢を埋め立て 20 ヘクタールの農場を作ろうというもので地元の方々は様々な理由で反対をしている。山の中に酪農場を作るといはいかににも不自然、この辺りを通るリニア新幹線のトンネル残土の捨て場ではないかとの疑念もある。この日も作業をしていた農家の方々から話を伺うと皆大反対とに事。リニア新幹線は不要不急そのものだ。(MK)

■前夜までの風がウソのように青空が広がり、温かいハイキング日和となりました。本厚木駅前の 1 番乗り場で半原行きの神奈中バスに乗車して愛川大橋バス停で下車、登り坂の車道を 30 分ほど歩きオギノパン工場トイレ休憩となりました。

長竹の道路沿いに「残土搬入断固反対」の看板が目立ちます。志田峠付近に「津久井農



場計画」あって、リニア新幹線建設工事で出る残土が埋め立てとして使われるとして地元住民から反対運動が起きています。休校中の畑や田んぼが沢山あるのに今更山奥に新たな農場建設はだれもが疑問に思います。今後どのように展開するか注目されます。

農道を歩き雨乞山まで1.3kmの標識を見て429mの頂上へ1時間で着きました。新緑の木々を見ながらの昼食

は最高でした。

頂上から40分で明日原に、目の前に小倉山の山肌を削った採石場が目立ちます。城山に向かって標識が整備され、ハイキングコースは畑の中や車道を歩き津久井観光センターのバス停に15時15分に着きました。城山は時間的に無理として省略しましたが良い判断でした。コロナに負けるな。

(河野正典)

■ 春の山を満喫！ これ以上ない絶好のハイキング日よりでしたね。半原でバスを降りてから峠までの車道沿いの道は、車やバイクの騒音で少々うるさかったのですが、これも先の楽しみのため。途中、突然と現れたパン屋で奥さんがあんパンを購入（自宅で食したがうまかったです！）

パン屋と反対側の農道に入るとすぐ『農場建設反対』の立て看板が目に入る。草野さんの話では、ここはリニア新幹線津久井トンネル掘削工事の残土処分場にするのではとの疑惑が持ち上がっている場所、とのこと。付近の方々が反対されるのは当然でしょう。

雨乞山の頂上までの道はなだらかで歩きやすく、周囲の新緑と、鶯の鳴き声などまさしく春の山の雰囲気一杯でした。

429mの頂上は周りの木々に遮られて見晴らしは良くなかったですが、爽やかな春風



左 雨乞山、右の2つの山の後方に農場計画が



地元の人たちによる農場反対の看板

に吹かれながらの昼食は、これまた大いに気分転換になりました。

山を下りてすぐ、江戸末期から続くという酒造所でお薦めの「美山錦」を一本だけ入手。

城山山頂は時間的に無理なので、そのまま、山裾を巻くようにバス停まで。バスのなかでは、それほどきつい歩きではなかったですが、やはり年ですかね、うとうとしてリュックを床に落としてしまいました。次の山行にもぜひ参加させてください。（浜田隆司）

■ \*今の楽しみ\* コロナ禍で例会が出来ない状況です。（会報は草野さんお一人で発送迄していただいています。原稿依頼ありましたら、皆さまご協力よろしくお願ひします）以前、例会後にお食事会へと流れるのが楽しみでした。それというのもワンパターン主婦のわたしにとって、お食事処のおつま



## 反対します

政府は、漁業関係者をはじめ地元の強い反対の声を無視して、東京電力福島第1原発で増え続ける放射能汚染水を処理した後の高濃度のトリチウム（3重水素）を含む汚染水の海洋放出方針を決定しました。

- ・福島第一原発敷地内には高さ10m一基約1000トンの汚染水貯蔵タンクが約1000基も林立し約130万トンの汚染水が貯蔵されている。その放射線レベルは1000兆ベクレル、広島原爆11個分という途方もない量なのです。

- ・汚染水はメルトダウンした3基の原発の冷却水として毎日100～150トン発生している。核分裂をしている燃料棒を直接冷却するので核物質を多量に含む汚染水となる。10年間汚染水に含まれる放射性物質の量は1000兆ベクレル、今後十年間でさらに同じ量の汚染水が発生する。

- ・この汚染水を62種の核種を除くというアルプス（多核種除去装置）に通してタンクに保存しているというが、実際にはアルプスによる処理が間に合わず多くの汚染水が未処理のまま保管されている。

- ・アルプスでは除去できないトリチウムを含むのでトリチウム水と呼ばれているが、取り切れないのはトリチウムだけではなく毒性の強いセシウムやストロンチウムなど12種の放射性物質が除去できない。

- ・トリチウムは放射線のエネルギーが小さいので危険が少ないと言われているが体内に取り込まれれば細胞を傷つける恐れが大きい。

- ・日本の領海に捨てるといっても太平洋は一つであり海洋放出は許されない。薄めて流すと言うが、いくら薄めても全て海洋に捨てるのだから放射性物質の総量は変わらない、薄める意味は全く無い。

- ・現在の汚染水タンクは一基約1000トンで、一週間に1基増設が必要という。原油備蓄用タンクのような1基5万トンの大型のタンク

み、食事が参考に出来る物もあり、そしてそこで先輩方に教えて頂いた「日本酒」の美味しさです。吟醸酒、純米酒等々詳しい事は分からなくても、わたしの口に合ったお酒が頂けるのが楽しみでした。今はそれも叶わず…でもわたし、家飲み始めました。それというもの「津軽びいどろ」の綺麗な色の盃を見付け買い、夕食のお伴にその盃で日本酒を少々。たいした献立でもないのに美味しく食べられます。

先日の「雨乞山」山行時立ち寄った根小屋の「久保田酒造」純米吟醸酒「相模灘」をお土産に。今晚あたり口を開けてどんな味が今から楽しみです。（稲本なお子）

### ■丹沢のサガミジョウロウホトトギス

5月の下旬から山歩きをすると膝が痛くなってしまい2ヶ月程整形でリハビリを受け日常生活は困らなくなりましたが、主人が体調不良で2度救急車のお世話になり山歩きは自粛していました。会報で皆様の尾瀬での楽しそうな様子を羨ましく感じました。そろそろ歩かないと何処にも行かれなくなってしまおうと8月下旬kさんを誘い高尾山の6号路を歩き、もう少し歩けそうだと翌週大山で汗びっしょりになりながら足慣らしをしました。

以前より行きたかった行者岳のサガミジョウロウホトトギスを目指し9月7日ヤビツ峠から出発、途中シャジン、ヤマジノホトトギス、ビランジ等の花々、三ノ塔ではフジアザミが咲いていました。行者岳の鎖を過ぎ登山道を外れた急な斜面を下った岩場にまだ咲き始めでしたが可憐な黄色の花が下向きに垂れ下がっていました。政次郎の頭から戸沢へ下山長い林道を大倉に向かいました。上り約3時間、下り2時間半満足できた山歩きでした。主人の体調を考えると日帰り限定ですがまだ山歩き続けられるかな。（曾根弘子）

（曾根さん掲載が遅くなってしまいました）

### ■政府の原発汚染水の海洋放出決定に

なら1基で1年分の保管が可能となる。福島第一原発敷地にはまだタンク増設の敷地の余裕があるという。

結局、これまでの政府・東電の議論は「放出ありき」で説得しようとして、漁業関係者をはじめ国民の納得を得られているとは思われない。

トリチウムは国内外の原発からも放出されているとか、トリチウムは基準値以下に薄めるから「汚染水」ではなく「処理水」であり安全であるかの如く宣伝しているが1000兆ベクレルもの放射性物質を含む「処理水」はどう薄めようが危険な原発汚染水であり、海洋放出は許されない。(MK)

---

## ■ 5山行：5月16日(日) 旧甲州街道 相模湖-上野原 小雨決行 ★

中央高速道路と国道20号線の整備で消えそうな旧甲州街道、地元の方々の尽力で今も往時の道筋が残されています。約10kmのウォーキングです。

・集合：朝9時 JR中央線 相模湖駅

電車の時刻：八王子発8:28-高尾着8:45-高尾発8:45-相模湖着8:53

・持ち物：お弁当、雨具ほか

## ■ 6月山行：6月20日(日)

### 南足柄のアジサイとハナアオイ ウォーキング 小雨決行 ★

開成町と南足柄市のアジサイとハナアオイ巡りの約8kmのウォーキングです。

(バスを避け駅からウォーキングできるよう年間計画と変えました。)

・集合：朝9時 小田急線 新松田駅前(JR 御殿場線松田駅前)

・持ち物：お弁当、雨具ほか

---

あとがき ・ゴールデンウィークを前にコロナ禍はいっこうに収まりそうもない。それどころかウイルス自身がどんどん変異し感染力が増した変異株が猛威を振るっている。大和市の私のところにもワクチン接種券が来たが申し込みは受付は5月末からで接種の予定は決まっていない。国のワクチン輸入のめどもたっていない、市の窓口は困ったものだろう。2回の接種を終えた医療従事者はまだ2割にも満たない。3000万人以上いる高齢者の接種の日程は全く見えない。急いで申し込む必要はないだろう。 ・菅総理が訪米、バイデン大統領からの最初の招待と自慢気味だが、最初にやらされたのが国立アーリントン戦没者墓地への献花、未だ敗戦国扱いということだろうか？ ・国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)の議長国イ

ギリスの議長が来日、スガ総理は「脱炭素に向けて日本が世界をリードしたい」と表明、日本はこれまでCOPで削減目標の低さ、消極さで毎回各国から批判されてきたことをスガ総理はご存知菜だろうか。 ・バイデン大統領主催の気候変動サミットでスガ総理はCO2削減目標として2030年度比-46%を示した。これまでの-26%に比べ高い目標だ。これを目標に脱炭素に向けて取り組んでくれるのは結構なことだが、自民党からは早くも原発再稼働や新設の声が上がっている。スガ総理の真意も原発で脱炭素を実現するというならそれはとんでもない事だ。再生可能エネルギーの供給を増やすことこそ脱炭素社会への王道だ。

・麦秋やコロナ引き連れ聖火行く (MK)